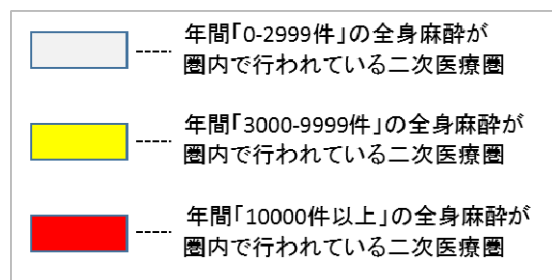
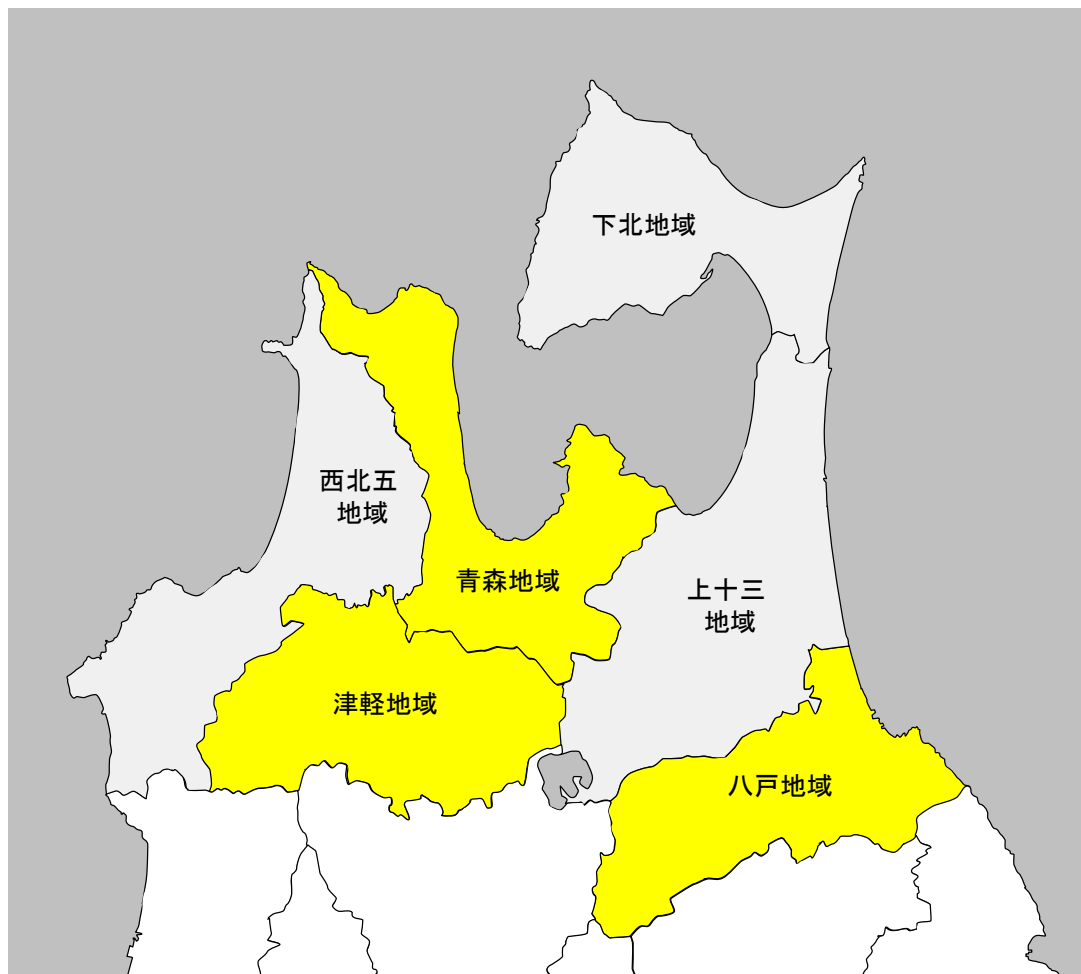


2. 青森県



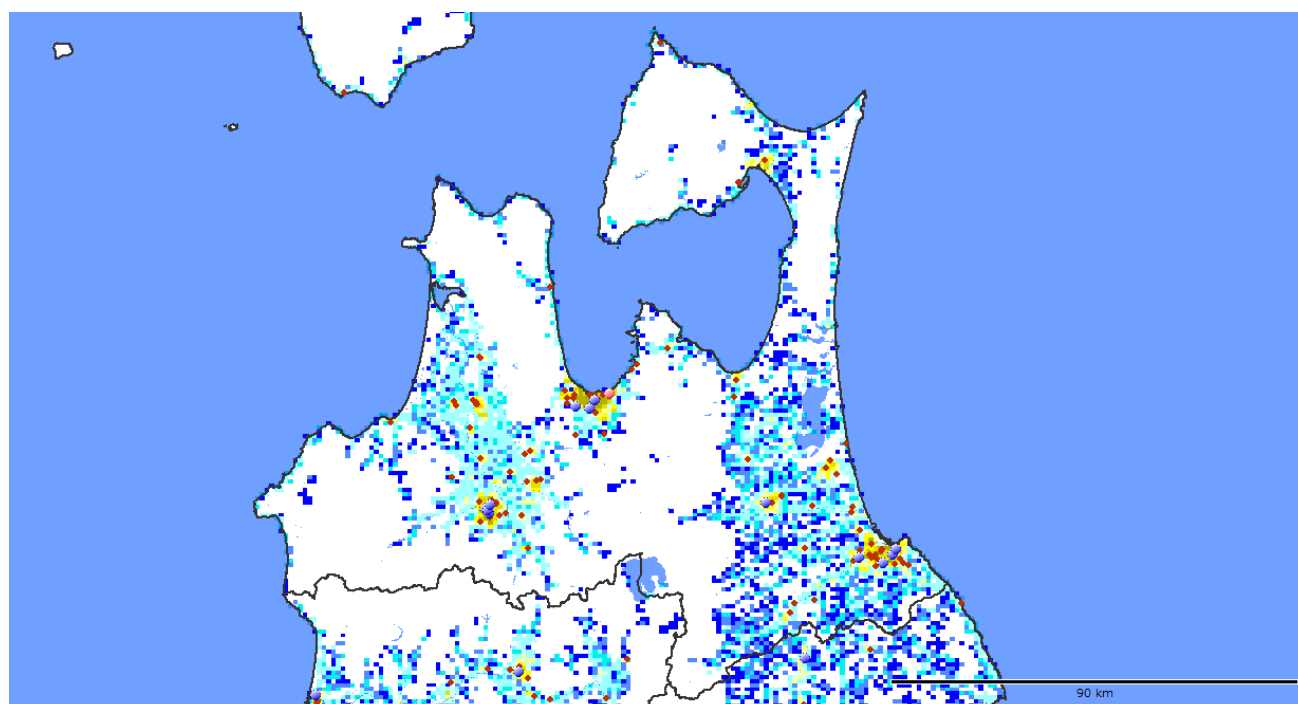
2. 青森県

目次

青森県.....	2 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料.....	2 - 7
1. 津軽地域医療圏.....	2 - 15
2. 八戸地域医療圏.....	2 - 19
3. 青森地域医療圏.....	2 - 23
4. 西北五地域医療圏.....	2 - 27
5. 上十三地域医療圏.....	2 - 31
6. 下北地域医療圏.....	2 - 35

2. 青森県

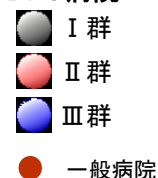
人口分布¹ (1 km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 青森県を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

2. 青森県

(青森県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 青森県は、総人口約 1306 千人(2015 年推計)、面積 9645 km²、人口密度は 135 人/km²である。

***人口の将来予測：** 青森県の総人口は 2025 年に 1161 千人へと減少し(2015 年比-11%)、2040 年に 932 千人へと減少する(2025 年比-20%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 200 千人が、2025 年にかけて 237 千人へと増加し(2015 年比+19%)、2040 年には 240 千人へと増加する(2025 年比+1%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 青森県の一人当たり医療費(国保)は 292 千円(偏差値 46)、介護給付費は 300 千円(偏差値 64)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 青森県の一人当たり急性期医療密度指数²は 1.06、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.79 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 45(病院医師数 46、診療所医師数 44)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 55 とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 54 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 49 と全国平均レベルである。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 48 と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 49 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 50 と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 54 で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 45 で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 青森県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、19716 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 12173 床(偏差値 52)、高齢者住宅等が 7543 床(偏差値 51)である。介護保険施設、高齢者住宅系ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、16287 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 54)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 58、特別養護老人ホーム 47、介護療養型医療施設 51、有料老人ホーム 38、軽費ホーム 45、グループホーム 74、サ高住 51 である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 41 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 45 とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、4685 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 69)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)³

①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は14123床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は11800床であり、その差は-2323床(-16%)である。

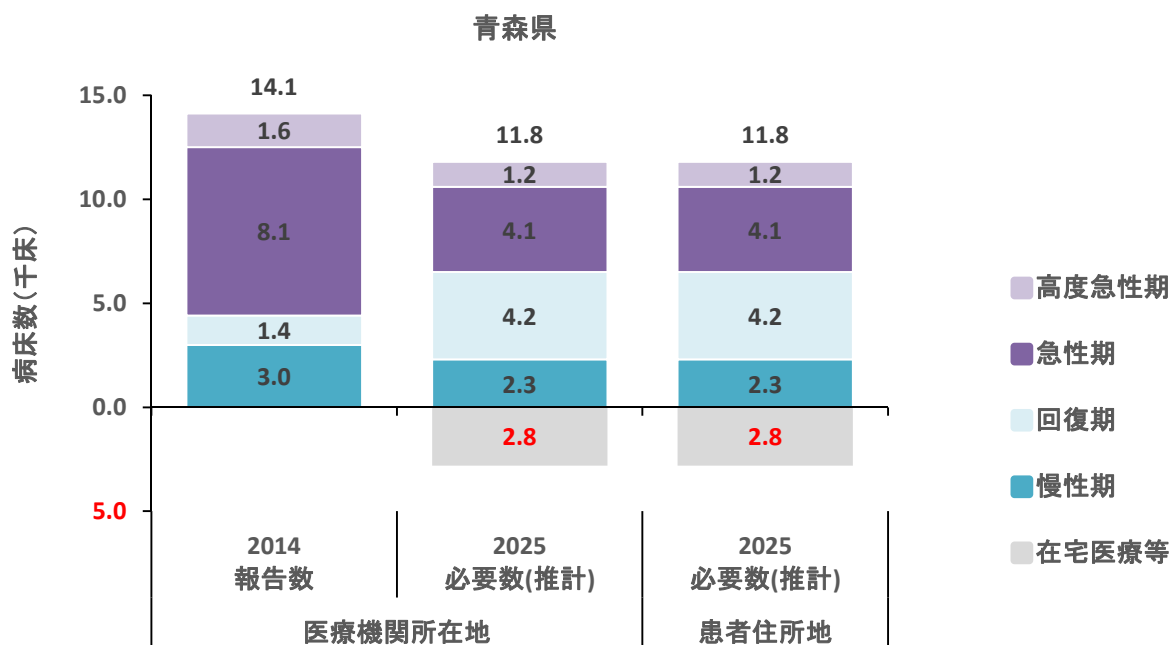
②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は1616床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は1200床であり、その差は-416床(-26%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は8098床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は4100床であり、その差は-3998床(-49%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は1419床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は4200床であり、その差は+2781床(+196%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は2990床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は2300床であり、その差は-690床(-23%)である。

⑥在宅医療等： 2025年の追加対応患者数(推計)(医療機関所在地)は2800人である。



※二次医療圏別必要病床数(推計)は公表された時点で資料編に追加予定

*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数⁴は+6%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-12%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

³必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果。

医療機関所在地ベース：患者の流出入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流出入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

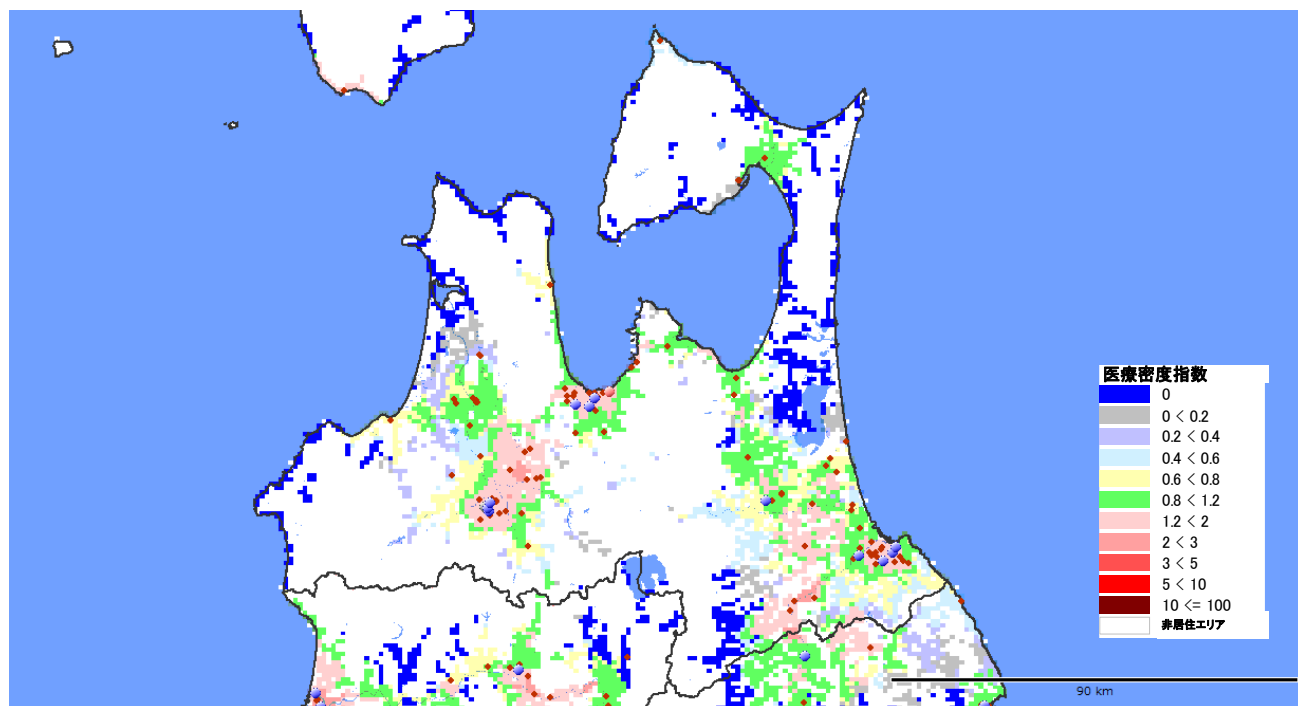
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

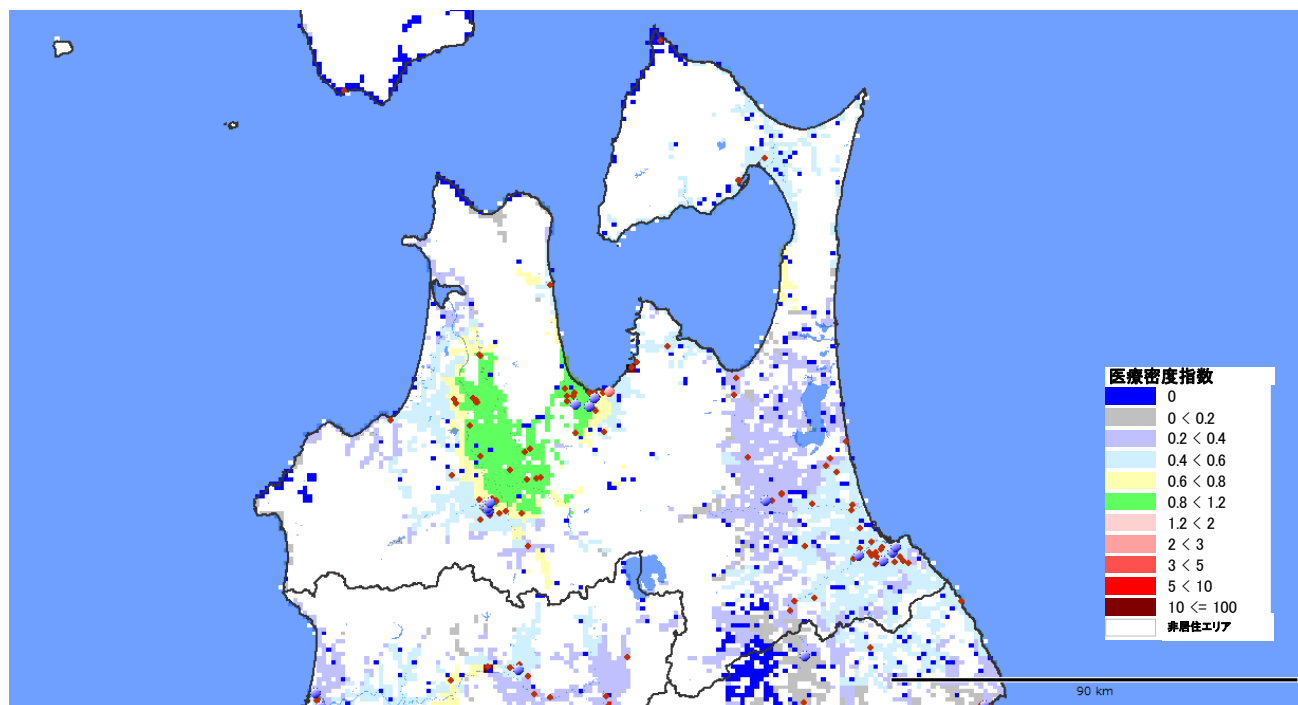
2. 青森県

2. 医療密度⁵

図表 2-1 急性期医療密度指数マップ



図表 2-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料¹

資_図表 2-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
青森県	1,306	31位	9,645	8位	135.4		30%	1,161	932	200	237	240	-11%	-20%	19%	1%
津軽地域	290	22%	1,598	17%	181.8	地方都市型	30%	258	209	46	52	51	-11%	-19%	13%	-2%
八戸地域	322	25%	1,347	14%	238.9	地方都市型	29%	291	238	47	59	61	-10%	-18%	26%	3%
青森地域	309	24%	1,477	15%	209.4	地方都市型	29%	275	218	44	54	55	-11%	-21%	23%	2%
西北五地域	133	10%	1,753	18%	75.9	過疎地域型	34%	113	84	25	26	25	-15%	-26%	4%	-4%
上十三地域	176	13%	2,055	21%	85.5	過疎地域型	30%	158	130	27	33	34	-10%	-18%	22%	3%
下北地域	75	6%	1,415	15%	53.2	過疎地域型	30%	67	53	12	14	14	-11%	-21%	17%	0%
出典	<人口、75歳以上人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資_図表 2-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)		
			2015年	2025年	2040年
全国	1.00	1.00	0.0%	-32.3%	-32.8%
青森県	1.06	0.79	6.3%	-10.8%	-12.1%
津軽地域	1.32	0.66	6.7%	-5.8%	-4.7%
八戸地域	1.16	0.55	-8.5%	-36.3%	-42.9%
青森地域	1.22	1.04	-6.2%	-30.4%	-31.5%
西北五地域	0.62	1.48	21.8%	18.9%	23.1%
上十三地域	0.74	0.42	2.4%	-16.7%	-21.4%
下北地域	0.56	0.91	-1.9%	-21.5%	-23.8%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

¹日医総研 WP no.323 「地域の医療提供体制の現状と将来・都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

2. 青森県

資_図表 2-3 医療費、介護給付費²

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	310	(42)	250	(37)
青森県	292	46	300	64
津軽地域	287	45	310	66
八戸地域	291	45	288	60
青森地域	319	52	290	61
西北五地域	267	40	304	65
上十三地域	281	43	323	70
下北地域	285	44	294	62
出典	<一人あたり医療費>平成24年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成25年度介護保険事業状況報告(年報) 平成25年度累計(平成25年3月サービス分から平成26年2月サービス分まで)			

資_図表 2-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,540		6.7	(4.2)	100,528		79	(19.6)
青森県	101	1.2%	7.7	52	896	0.9%	69	45
津軽地域	24	24%	8.3	54	237	26%	82	51
八戸地域	27	27%	8.4	54	196	22%	61	41
青森地域	24	24%	7.8	52	245	27%	79	50
西北五地域	9	9%	6.8	50	81	9%	61	41
上十三地域	13	13%	7.4	52	91	10%	52	36
下北地域	4	4%	5.3	47	46	5%	61	41
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 2-5 診療所数 (全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)				無床 診療所数				有床 診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,528		79	(19.6)	91,279		72	(19.0)	9,249		7.3	(7.0)
青森県	896	0.9%	69	45	686	0.8%	53	40	210	2.3%	16.1	63
津軽地域	237	26%	82	51	171	25%	59	43	66	31%	22.7	72
八戸地域	196	22%	61	41	158	23%	49	38	38	18%	11.8	56
青森地域	245	27%	79	50	183	27%	59	43	62	30%	20.0	68
西北五地域	81	9%	61	41	70	10%	53	40	11	5%	8.3	51
上十三地域	91	10%	52	36	67	10%	38	32	24	11%	13.7	59
下北地域	46	5%	61	41	37	5%	49	38	9	4%	12.0	57
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

²複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

資_図表 2-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,573,772		1,243	(510)	121,342		96	(111)	1,695,114		1,338	(576)
青森県	17,916	1.1%	1,372	53	3,169	2.6%	243	63	21,085	1.2%	1,615	55
津軽地域	4,463	25%	1,537	56	979	31%	337	72	5,442	26%	1,874	59
八戸地域	4,566	25%	1,419	53	572	18%	178	57	5,138	24%	1,597	54
青森地域	4,893	27%	1,582	57	981	31%	317	70	5,874	28%	1,899	60
西北五地域	1,449	8%	1,089	47	170	5%	128	53	1,619	8%	1,217	48
上十三地域	1,913	11%	1,088	47	354	11%	201	60	2,267	11%	1,290	49
下北地域	632	4%	840	42	113	4%	150	55	745	4%	990	44
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 2-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	897,380		708	(232)	328,195		259	(213)	339,780		268	(219)
青森県	10,513	1.2%	805	54	2,806	0.9%	215	48	4,511	1.3%	346	54
津軽地域	2,954	28%	1,017	63	605	22%	208	48	898	20%	309	52
八戸地域	2,644	25%	822	55	507	18%	158	45	1,409	31%	438	58
青森地域	2,765	26%	894	58	791	28%	256	50	1,271	28%	411	57
西北五地域	640	6%	481	40	629	22%	473	60	180	4%	135	44
上十三地域	1,056	10%	601	45	154	5%	88	42	699	15%	398	56
下北地域	454	4%	604	45	120	4%	160	45	54	1%	72	41
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 2-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数³

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	74,508		59	(46)	21,119		36	(44)
青森県	773	1.0%	59	50	355	1.7%	27	48
津軽地域	275	36%	95	58	108	30%	37	50
八戸地域	164	21%	51	48	145	41%	45	52
青森地域	334	43%	108	61	32	9%	10	44
西北五地域	0	0%	0	37	29	8%	22	47
上十三地域	0	0%	0	37	41	12%	23	47
下北地域	0	0%	0	37	0	0%	0	42
出典	地方厚生局データを活用した全国回復期 リハビリテーション病棟連絡協議会の独 自調査 平成27年3月				地方厚生局データを活用した地域包括ケ ア病棟協会の独自調査 平成27年5月			

³ 復興東信越厚生局、近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでいない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は除外して計算している。

2. 青森県

資_図表 2-9 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	2,577,228		2,035	(946)	1,062,024		838	(291)
青森県	25,116	1.0%	1,924	49	9,360	0.9%	717	46
津軽地域	8,532	34%	2,938	60	2,196	23%	756	47
八戸地域	6,276	25%	1,951	49	2,748	29%	854	51
青森地域	6,624	26%	2,141	51	2,388	26%	772	48
西北五地域	1,176	5%	884	38	780	8%	586	41
上十三地域	1,644	7%	935	38	744	8%	423	36
下北地域	864	3%	1,149	41	504	5%	670	44
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 2-10 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	328,427		259	(89)	206,659		163	(65)	121,769		96	(30)
青森県	2,814	0.9%	216	45	1,789	0.9%	137	46	1,025	0.8%	79	44
津軽地域	901	32%	310	56	627	35%	216	58	275	27%	95	49
八戸地域	668	24%	208	44	429	24%	133	45	239	23%	74	43
青森地域	697	25%	225	46	403	23%	130	45	294	29%	95	50
西北五地域	183	7%	137	36	108	6%	81	37	75	7%	56	37
上十三地域	257	9%	146	37	156	9%	89	39	101	10%	57	37
下北地域	107	4%	143	37	66	4%	87	38	42	4%	55	37
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 2-11 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,070,056		845	(286)	889,314		702	(241)	180,742		143	(74)
青森県	12,744	1.2%	976	55	10,230	1.2%	784	53	2,515	1.4%	193	57
津軽地域	3,193	25%	1,099	59	2,642	26%	910	59	551	22%	190	56
八戸地域	3,121	24%	970	54	2,565	25%	798	54	555	22%	173	54
青森地域	3,715	29%	1,201	62	2,782	27%	899	58	933	37%	302	71
西北五地域	876	7%	658	43	703	7%	529	43	173	7%	130	48
上十三地域	1,313	10%	747	47	1,114	11%	634	47	199	8%	113	46
下北地域	526	4%	700	45	422	4%	561	44	104	4%	138	49
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 2-12 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	111,708		88	(49)	280,052		221	(94)
青森県	1,077	1.0%	82	49	2,052	0.7%	157	43
津軽地域	349	32%	120	57	502	24%	173	45
八戸地域	275	26%	86	49	457	22%	142	42
青森地域	311	29%	101	53	649	32%	210	49
西北五地域	46	4%	35	39	131	6%	98	37
上十三地域	58	5%	33	39	228	11%	130	40
下北地域	37	3%	49	42	85	4%	113	39
出典	平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成24年12月			

資_図表 2-13 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	14,364		0.9	(0.5)	1,027		0.1	(0.1)
青森県	93	0.6%	0.5	41	6	0.6%	0.0	45
津軽地域	36	39%	0.8	48	2	33%	0.0	47
八戸地域	14	15%	0.3	37	1	17%	0.0	43
青森地域	30	32%	0.7	46	3	50%	0.1	51
西北五地域	4	4%	0.2	34	0	0%	0	39
上十三地域	7	8%	0.3	36	0	0%	0	39
下北地域	2	2%	0.2	35	0	0%	0	39
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月			

資_図表 2-14 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,572,585		96	(16)	966,631		59	(13)	605,954		37	(14)
青森県	19,716	1.3%	98	52	12,173	1.3%	61	52	7,543	1.2%	38	51
津軽地域	4,829	24%	106	56	2,812	23%	62	52	2,017	27%	44	55
八戸地域	4,169	21%	90	46	2,656	22%	57	49	1,513	20%	32	47
青森地域	3,920	20%	89	46	2,337	19%	53	45	1,583	21%	36	49
西北五地域	2,797	14%	111	59	1,786	15%	71	59	1,011	13%	40	52
上十三地域	2,968	15%	109	58	1,774	15%	65	55	1,194	16%	44	55
下北地域	1,033	5%	89	46	808	7%	69	58	225	3%	19	38
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

2. 青森県

資_図表 2-15 老人保健施設（老健）定員数、特別養護老人ホーム（特養）定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）定員数				特別養護老人ホーム（特養）定員数				介護療養病床数			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	357,540		22	(5.7)	539,475		33	(10.2)	69,616		4.2	(4.2)
青森県	5,261	1.5%	26	58	5,997	1.1%	30	47	915	1.3%	4.6	51
津軽地域	1,467	28%	32	68	1,311	22%	29	46	34	4%	0.7	42
八戸地域	1,080	21%	23	53	1,289	21%	28	45	287	31%	6.2	55
青森地域	1,058	20%	24	54	1,142	19%	26	43	137	15%	3.1	47
西北五地域	580	11%	23	52	795	13%	31	49	411	45%	16.2	79
上十三地域	817	16%	30	65	951	16%	35	52	6	1%	0.2	40
下北地域	259	5%	22	51	509	8%	44	61	40	4%	3.4	48
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 2-16 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム				軽費ホーム				グループホーム			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	209,255		12.7	(10.0)	20,481		1.2	(1.9)	186,381		11.3	(5.6)
青森県	135	0.1%	0.7	38	60	0.3%	0.3	45	4,962	2.7%	24.8	74
津軽地域	0	0%	0	37	30	50%	0.7	47	1,308	26%	28.7	81
八戸地域	81	60%	1.7	39	0	0%	0	43	878	18%	18.9	63
青森地域	0	0%	0	37	30	50%	0.7	47	1,141	23%	25.8	76
西北五地域	0	0%	0	37	0	0%	0	43	933	19%	36.9	96
上十三地域	54	40%	2.0	39	0	0%	0	43	540	11%	19.9	65
下北地域	0	0%	0	37	0	0%	0	43	162	3%	13.9	55
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 2-17 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住（全施設）				サ高住（特定施設）				サ高住（非特定施設）			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	189,837		11.5	(6.2)	9,386		0.6	(1.2)	180,451		11.0	(5.9)
青森県	2,386	1.3%	11.9	51	15	0.2%	0.1	46	2,371	1.3%	11.8	51
津軽地域	679	28%	14.9	55	0	0%	0	45	679	29%	14.9	57
八戸地域	554	23%	11.9	51	15	100%	0.3	48	539	23%	11.6	51
青森地域	412	17%	9.3	46	0	0%	0	45	412	17%	9.3	47
西北五地域	78	3%	3.1	36	0	0%	0	45	78	3%	3.1	37
上十三地域	600	25%	22.1	67	0	0%	0	45	600	25%	22.1	69
下北地域	63	3%	5.4	40	0	0%	0	45	63	3%	5.4	41
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 2-18 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数（施設）				看護師数（訪問）			
	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （訪問）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	153,515		9.3	(2.5)	116,114		7.1	(2.3)	37,402		2.3	(0.8)
青森県	2,108	1.4%	10.5	55	1,545	1.3%	7.7	53	563	1.5%	2.8	57
津軽地域	486	23%	10.7	55	331	21%	7.3	51	155	28%	3.4	64
八戸地域	545	26%	11.7	59	394	25%	8.5	56	151	27%	3.2	62
青森地域	407	19%	9.2	49	297	19%	6.7	48	110	20%	2.5	53
西北五地域	286	14%	11.3	58	260	17%	10.3	64	26	5%	1.0	34
上十三地域	277	13%	10.2	53	180	12%	6.6	48	98	17%	3.6	66
下北地域	108	5%	9.3	50	84	5%	7.3	51	23	4%	2.0	47
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 2-19 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数（介護施設等）				介護職員数（在宅）			
	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 （介護施設等）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 （在宅）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,449,644		88	(15.7)	1,230,764		75	(14.6)	218,879		13.3	(5.4)
青森県	20,972	1.4%	105	61	16,287	1.3%	81	54	4,685	2.1%	23.4	69
津軽地域	5,223	25%	115	67	3,867	24%	85	57	1,356	29%	29.8	80
八戸地域	4,573	22%	98	56	3,673	23%	79	53	900	19%	19.3	61
青森地域	4,736	23%	107	62	3,482	21%	79	53	1,254	27%	28.4	78
西北五地域	2,606	12%	103	59	2,216	14%	88	59	390	8%	15.4	54
上十三地域	2,776	13%	102	59	2,164	13%	80	53	612	13%	22.5	67
下北地域	1,058	5%	91	52	885	5%	76	51	173	4%	14.9	53
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 2-20 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療利用者数				訪問看護利用者数				訪問介護利用者数			
	在宅医療利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	733,366		45	(24)	349,081		21	(9)	1,423,393		86	(30)
青森県	7,586	1.0%	38	47	4,186	1.2%	21	50	23,392	1.6%	117	60
津軽地域	1,873	25%	41	49	1,011	24%	22	51	6,271	27%	138	67
八戸地域	1,286	17%	28	43	1,181	28%	25	55	5,147	22%	111	58
青森地域	2,755	36%	62	57	875	21%	20	48	5,693	24%	129	64
西北五地域	186	2%	7	35	143	3%	6	33	1,988	8%	79	47
上十三地域	1,226	16%	45	50	804	19%	30	59	2,765	12%	102	55
下北地域	260	3%	22	41	172	4%	15	43	1,528	7%	131	65
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

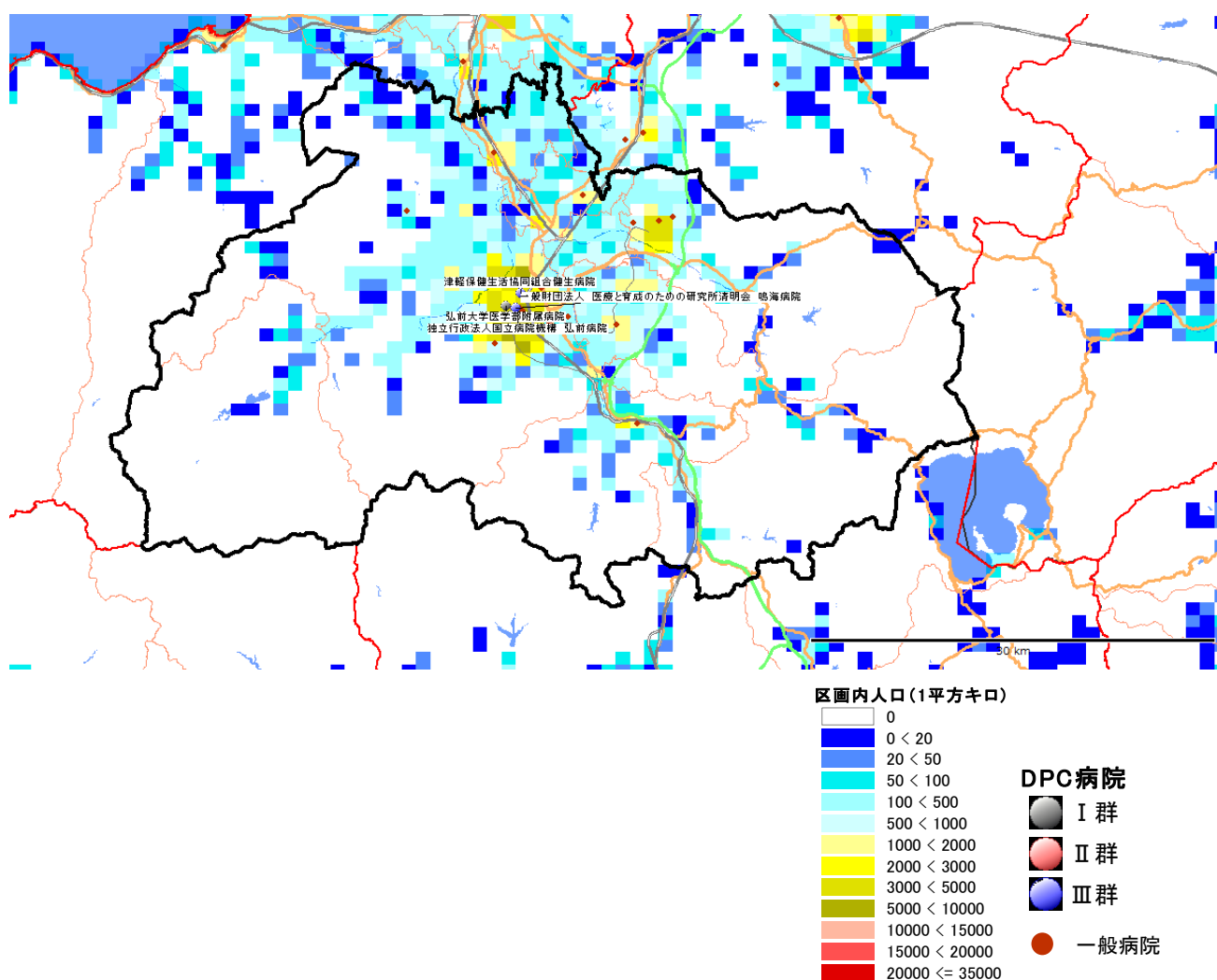
2. 青森県

資_図表 2-21 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
青森県	8,663	7,489	464	8,734	2,696	2,253	73.5%	59	17.1%	53
津軽地域	1,673	1,594	32	2,695	1,295	543	55.2%	51	5.6%	48
八戸地域	2,388	2,189	89	2,129	417	467	84.0%	63	16.0%	53
青森地域	2,382	1,833	152	2,236	733	569	71.4%	58	21.1%	55
西北五地域	638	554	40	731	60	551	90.2%	66	6.8%	49
上十三地域	950	865	31	943	191	123	81.9%	62	20.1%	55
下北地域	632	454	120	0	0	0	100.0%	70	100.0%	89
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

つがる 2-1. 津軽地域医療圏

構成市区町村¹ 弘前市,黒石市,平川市,西目屋村,藤崎町,大鰐町,田舎館村,板柳町
人口分布² (1km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 津軽地域医療圏を1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

2. 青森県

(津軽地域医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 津軽地域(弘前市)は、総人口約 290 千人(2015 年推計)、面積 1598 km²、人口密度は 182 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 津軽地域の総人口は 2025 年に 258 千人へと減少し(2015 年比-11%)、2040 年に 209 千人へと減少する(2025 年比-19%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 46 千人が、2025 年にかけて 52 千人へと増加し(2015 年比+13%)、2040 年には 51 千人へと減少する(2025 年比-2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 津軽地域の一人当たり医療費(国保)は 287 千円(偏差値 45)、介護給付費は 310 千円(偏差値 66)であり、医療費はやや低い、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 津軽地域の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.32、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.66 で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 56(病院医師数 58、診療所医師数 49)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は 59 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 63 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 60 と多い。津軽地域には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の弘前大学医学部附属病院(I 群・救命)、500 例以上の国立病院機構弘前病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 48 と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 57 と多く、回復期病床数は偏差値 58 と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 52 で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 51 で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 津軽地域の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4829 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 2812 床(偏差値 52)、高齢者住宅等が 2017 床(偏差値 55)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3867 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 57)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 68、特別養護老人ホーム 46、介護療養型医療施設 42、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホーム 47、グループホーム 81、サ高住 55 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 48 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

は偏差値 47 とやや少ない。介護職員（在宅）の合計は、1356 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 80)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

【医療と介護の需要予測】

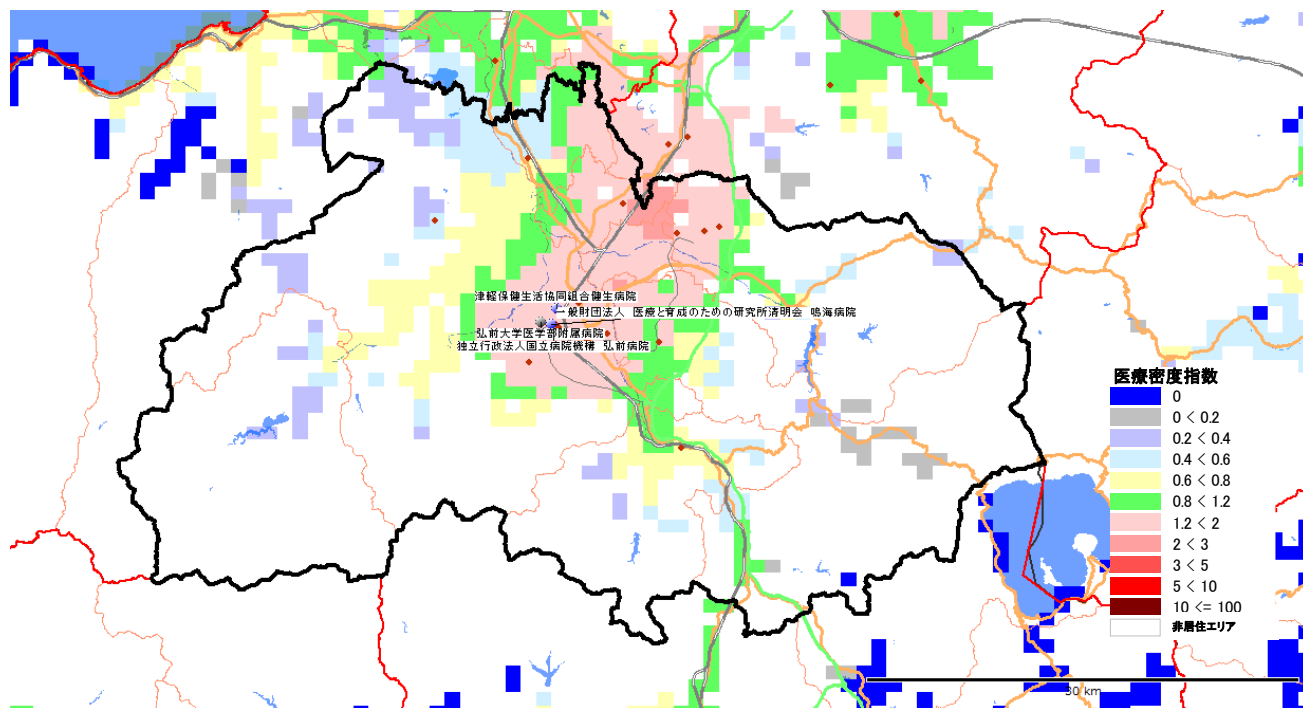
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+7%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は-5%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均 (95.5 床) と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

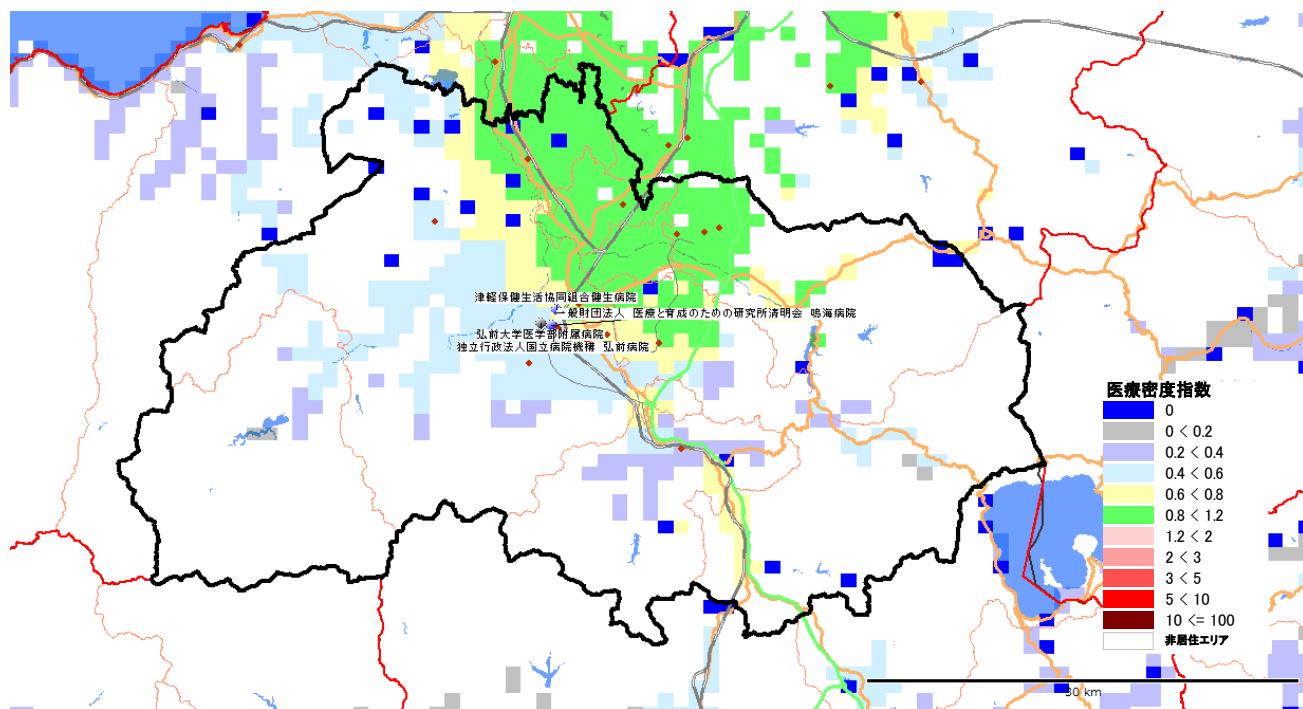
2. 青森県

2. 医療密度⁵

図表 2-1-1 急性期医療密度指数マップ



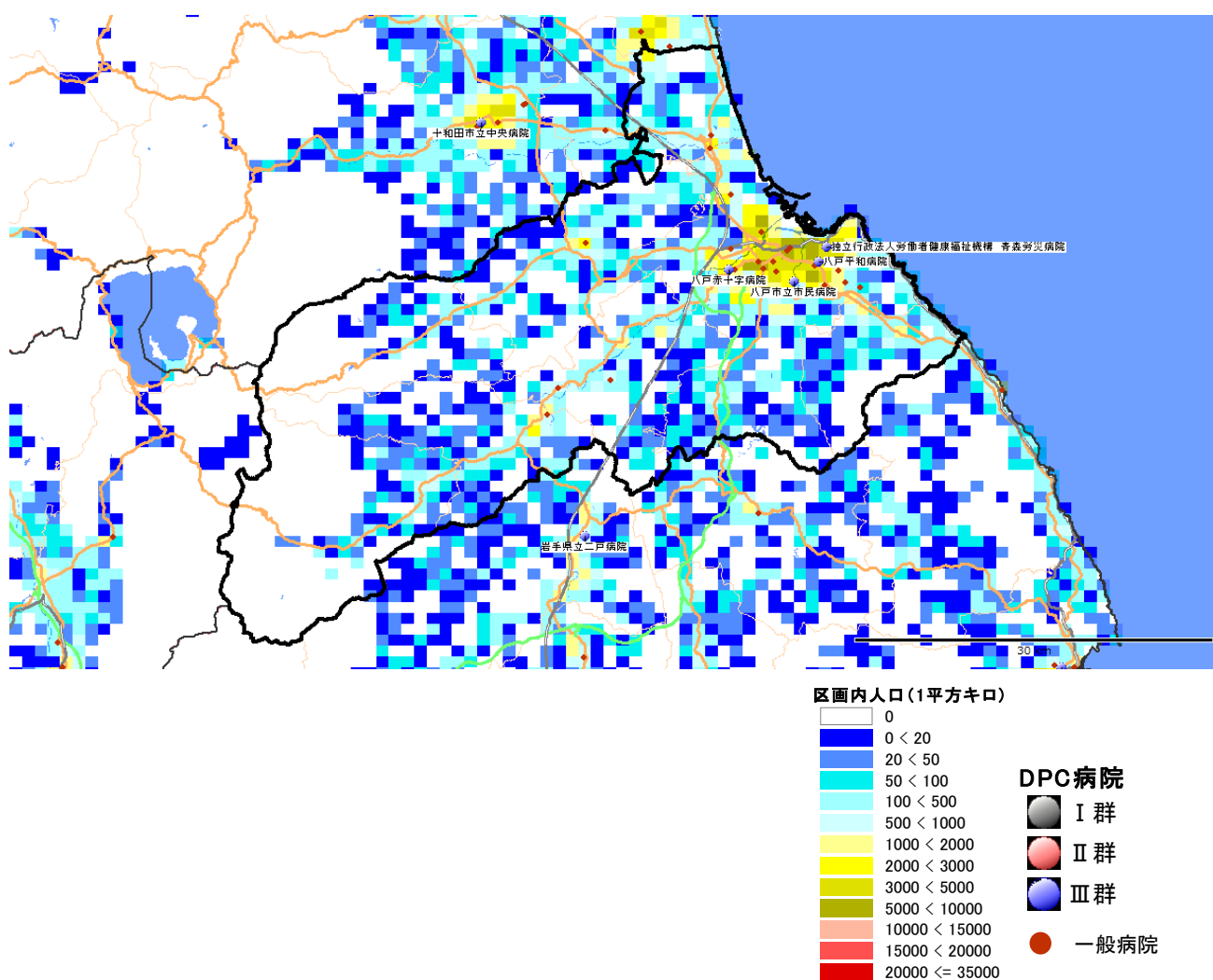
図表 2-1-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

はちのへ 2-2. 八戸地域医療圏

構成市区町村¹ 八戸市,おいらせ町,三戸町,五戸町,田子町,南部町,階上町,新郷村
人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 八戸地域医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

2. 青森県

(八戸地域医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 八戸地域(八戸市)は、総人口約 322 千人(2015 年推計)、面積 1347 km²、人口密度は 239 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 八戸地域の総人口は 2025 年に 291 千人へと減少し(2015 年比-10%)、2040 年に 238 千人へと減少する(2025 年比-18%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 47 千人が、2025 年にかけて 59 千人へと増加し(2015 年比+26%)、2040 年には 61 千人へと増加する(2025 年比+3%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 八戸地域の一人当たり医療費(国保)は 291 千円(偏差値 45)、介護給付費は 288 千円(偏差値 60)であり、医療費はやや低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 八戸地域の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.16、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.55 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 44(病院医師数 45、診療所医師数 43)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 54 とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 55 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 49 と全国平均レベルである。八戸地域には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の八戸市立市民病院(救命)、1000 例以上の八戸赤十字病院、500 例以上の青森労災病院がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 45 と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 49 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 48 と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 58 で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 41 で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 八戸地域の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4169 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 2656 床(偏差値 49)、高齢者住宅等が 1513 床(偏差値 47)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3673 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 53、特別養護老人ホーム 45、介護療養型医療施設 55、有料老人ホーム 39、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 63、サ高住 51 で

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

ある。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 37 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 43 と少ない。介護職員（在宅）の合計は、900 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 61)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

【医療と介護の需要予測】

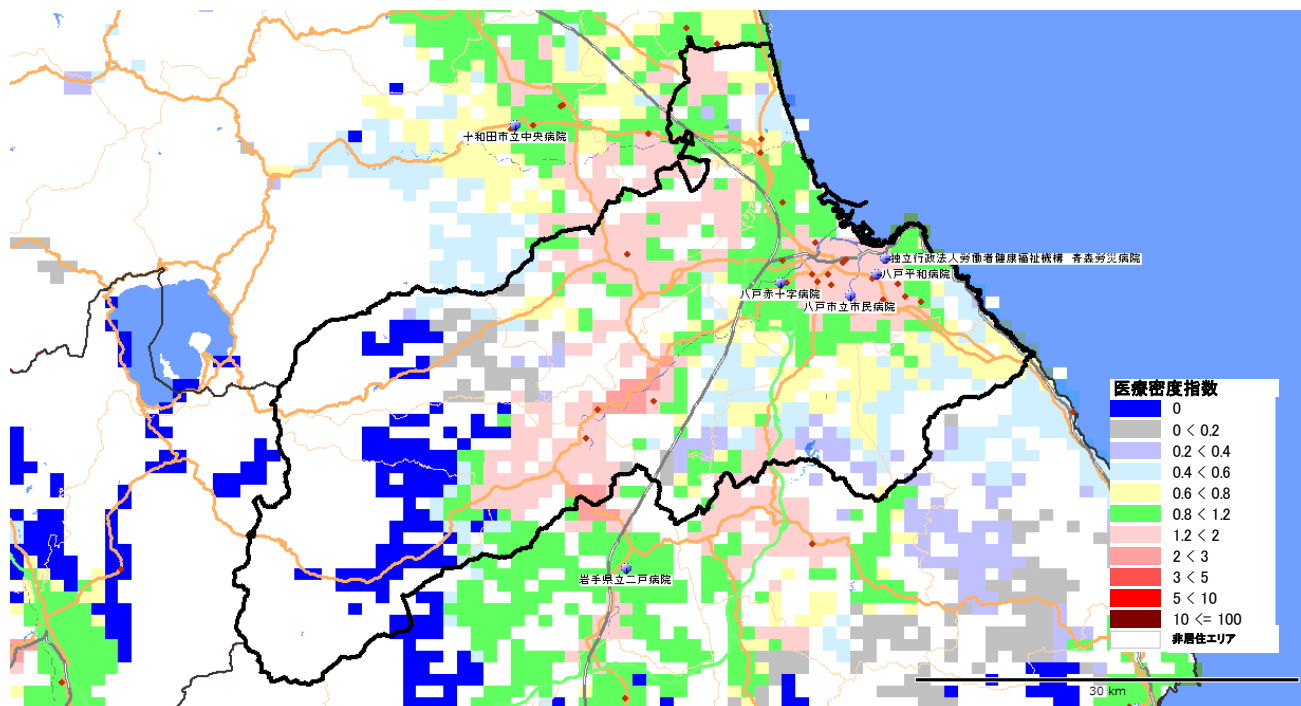
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は－8%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は－43%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

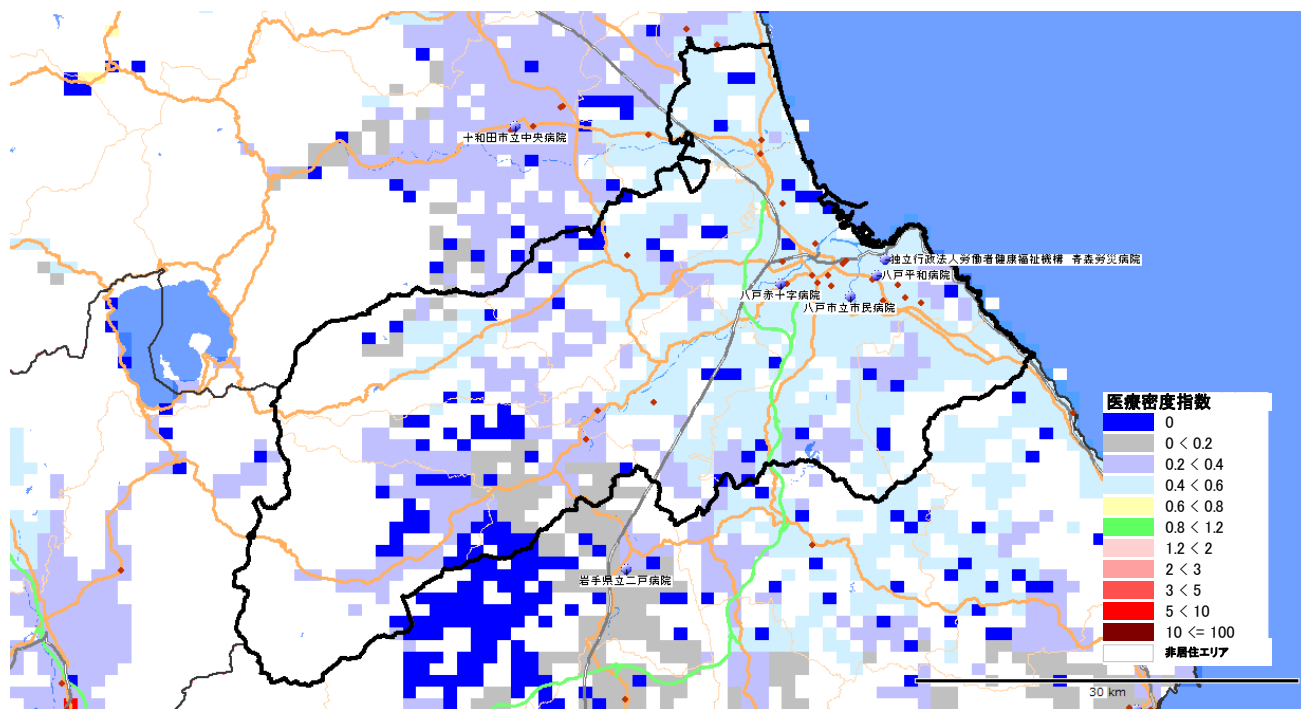
2. 青森県

2. 医療密度⁵

図表 2-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表 2-2-2 慢性期医療密度指数マップ

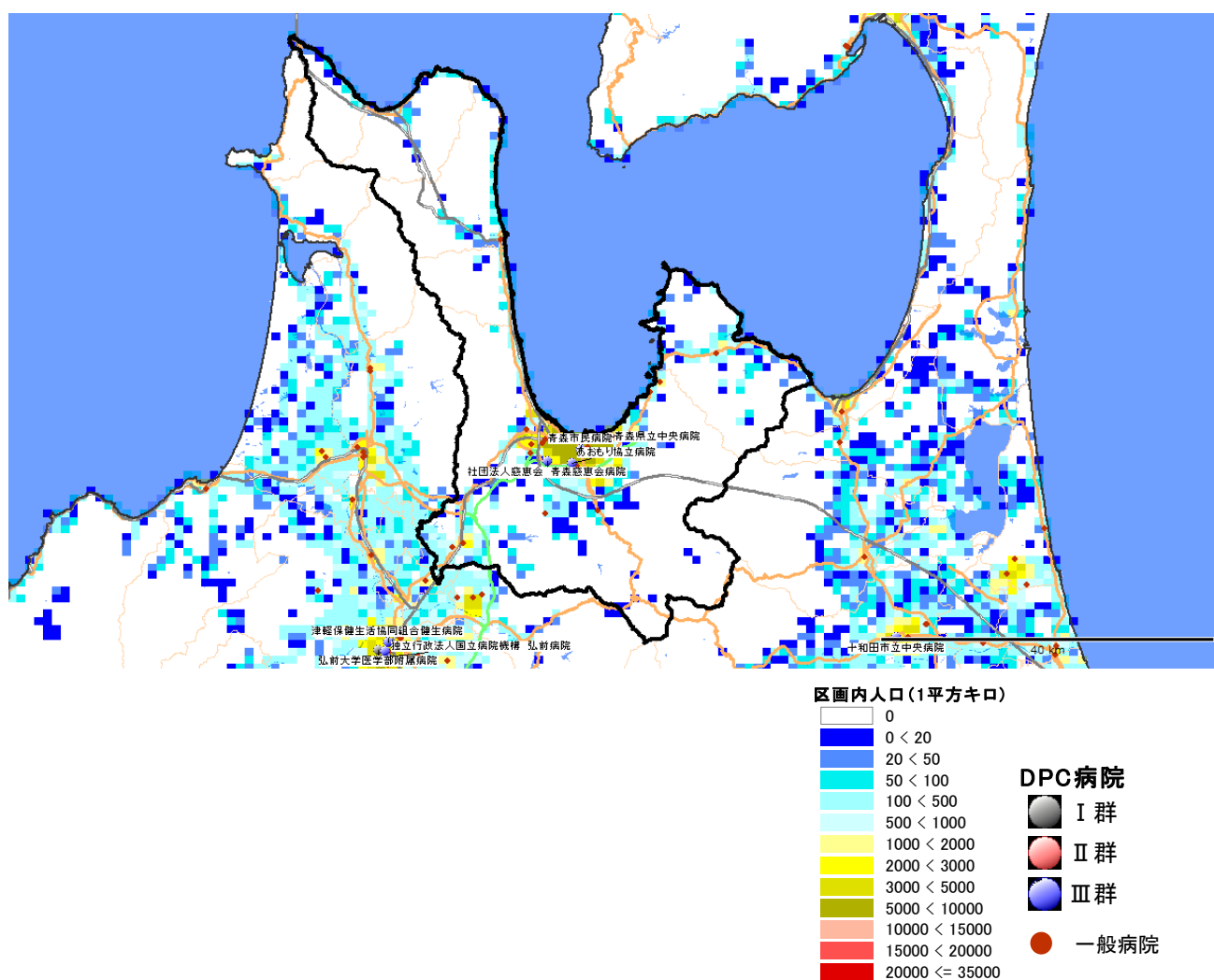


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

2-3. あおもり 青森地域医療圏

構成市区町村¹ [青森市](#), [平内町](#), [今別町](#), [蓬田村](#), [外ヶ浜町](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 青森地域医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

2. 青森県

(青森地域医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 青森地域(青森市)は、総人口約 309 千人(2015 年推計)、面積 1477 km²、人口密度は 209 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 青森地域の総人口は 2025 年に 275 千人へと減少し(2015 年比-11%)、2040 年に 218 千人へと減少する(2025 年比-21%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 44 千人が、2025 年にかけて 54 千人へと増加し(2015 年比+23%)、2040 年には 55 千人へと増加する(2025 年比+2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 青森地域の一人当たり医療費(国保)は 319 千円(偏差値 52)、介護給付費は 290 千円(偏差値 61)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 青森地域の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.22、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.04 で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 46(病院医師数 45、診療所医師数 50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 62 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 58 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 51 と全国平均レベルである。青森地域には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の青森県立中央病院(Ⅱ群・救命)、1000 例以上の青森市民病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 50 と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 53 とやや多く、回復期病床数は偏差値 61 と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 57 で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 50 で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 青森地域の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3920 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 2337 床(偏差値 45)、高齢者住宅等が 1583 床(偏差値 49)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3482 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 54、特別養護老人ホーム 43、介護療養型医療施設 47、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホーム 47、グループホーム 76、サ高住 46 である。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 46 とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値 51 と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、1254 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 78) で、75 歳以上人口あたりでは全国平均レベルを大きく上回る。

【医療と介護の需要予測】

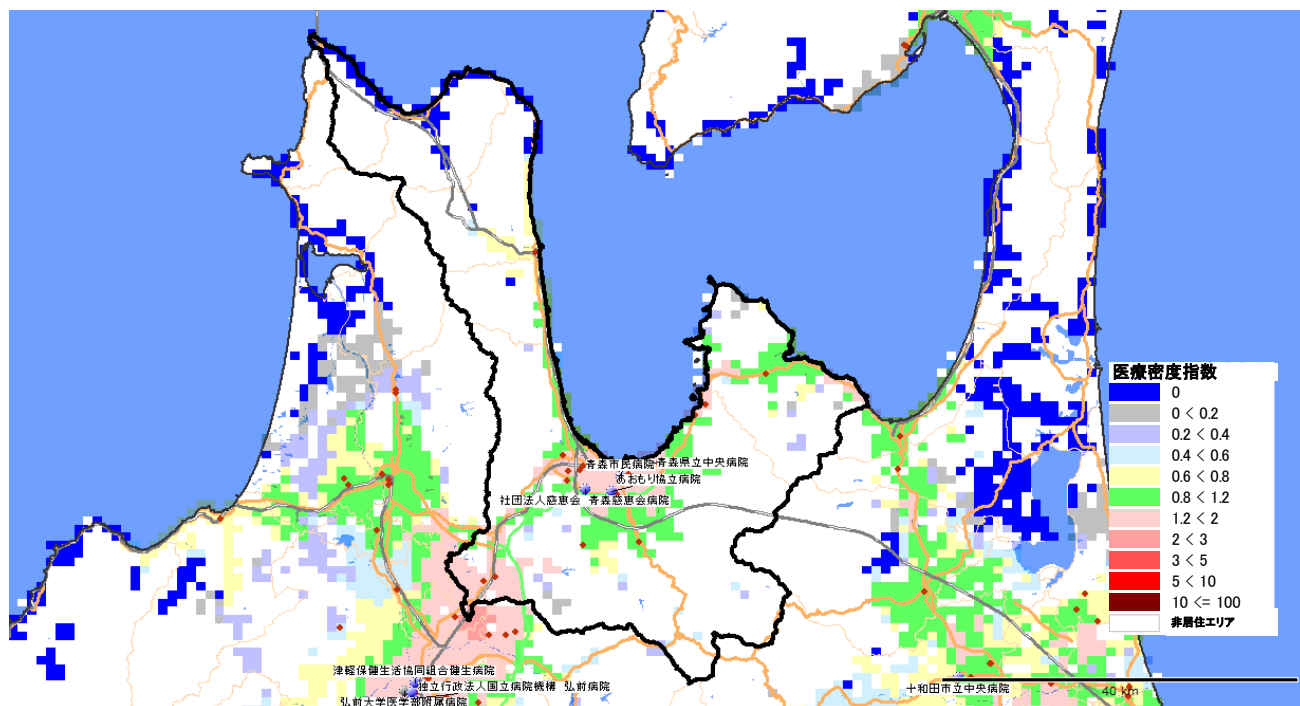
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-6%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は-31%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

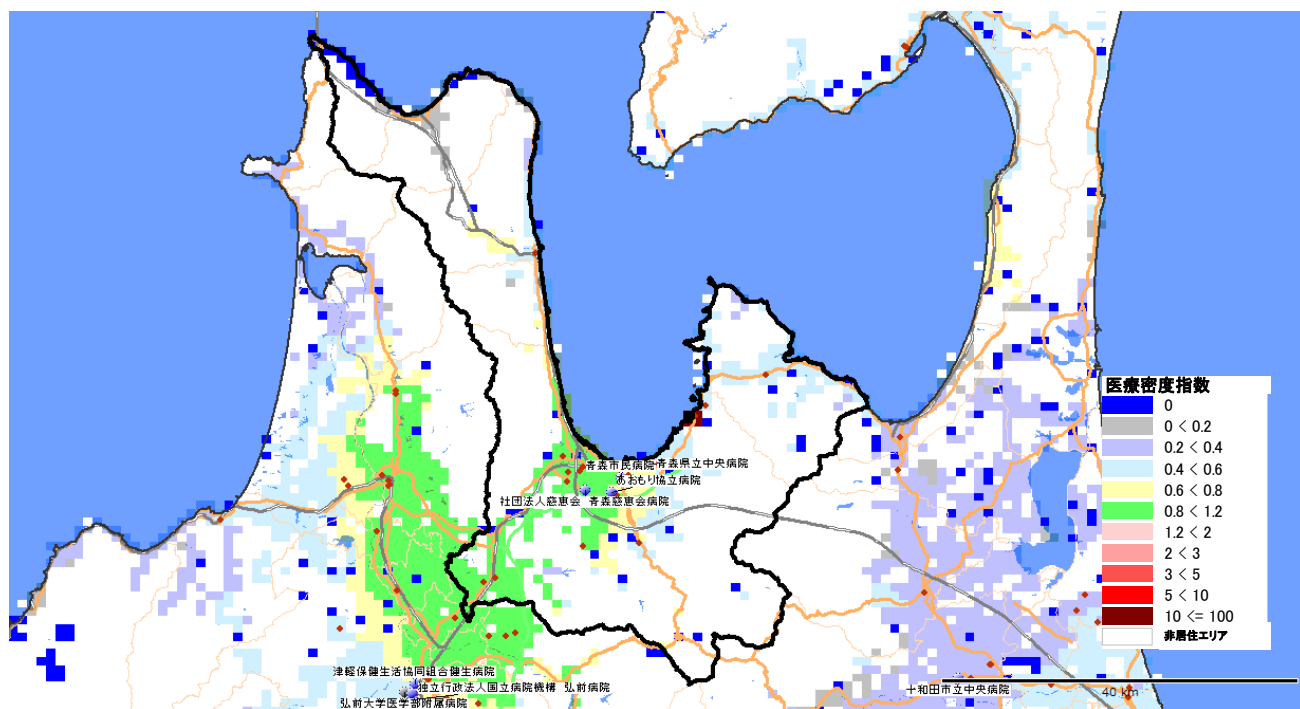
2. 青森県

2. 医療密度⁵

図表 2-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表 2-3-2 慢性期医療密度指数マップ

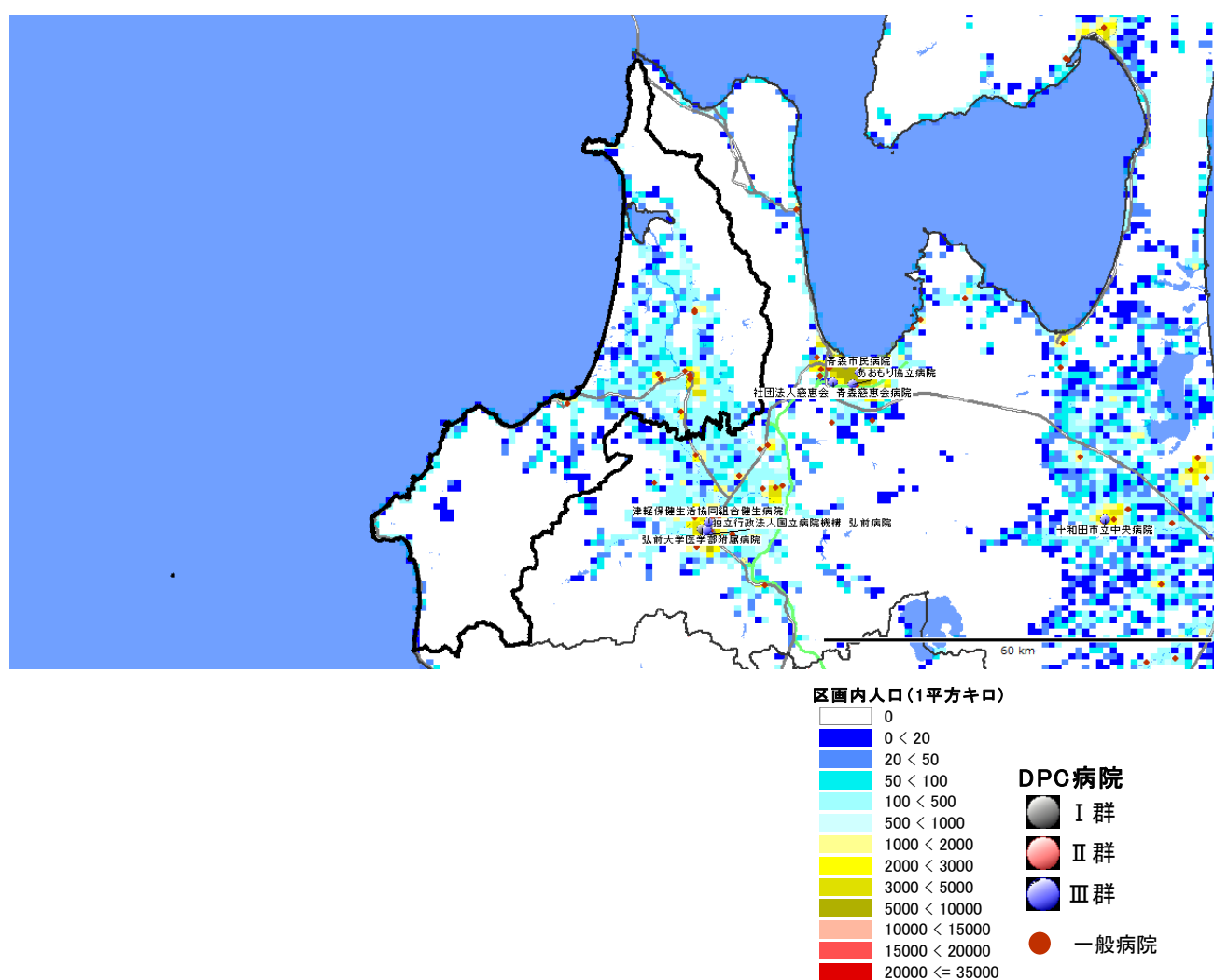


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

2-4. せいほくご 西北五地域医療圏

構成市区町村¹ [五所川原市](#), [つがる市](#), [鱒ヶ沢町](#), [深浦町](#), [鶴田町](#), [中泊町](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 西北五地域医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

2. 青森県

(西北五地域医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 西北五地域(五所川原市)は、総人口約 133 千人(2015 年推計)、面積 1753 km²、人口密度は 76 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 西北五地域の総人口は 2025 年に 113 千人へと減少し(2015 年比-15%)、2040 年に 84 千人へと減少する(2025 年比-26%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 25 千人が、2025 年にかけて 26 千人へと増加し(2015 年比+4%)、2040 年には 25 千人へと減少する(2025 年比-4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 西北五地域の一人当たり医療費(国保)は 267 千円(偏差値 40)、介護給付費は 304 千円(偏差値 65)であり、医療費は低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 西北五地域の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.62、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.48 で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 36(病院医師数 37、診療所医師数 37)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 43 と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 40 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 38 と少ない。西北五地域には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 60 と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 39 と少なく、回復期病床数は存在しない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 44 で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 41 で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 西北五地域の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2797 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 59)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1786 床(偏差値 59)、高齢者住宅等が 1011 床(偏差値 52)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅系は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2216 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 59)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 52、特別養護老人ホーム 49、介護療養型医療施設 79、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 96、サ高住 36 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 34 と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在し

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

ない。介護職員（在宅）の合計は、390人（75歳以上1000人当たりの偏差値54）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

【医療と介護の需要予測】

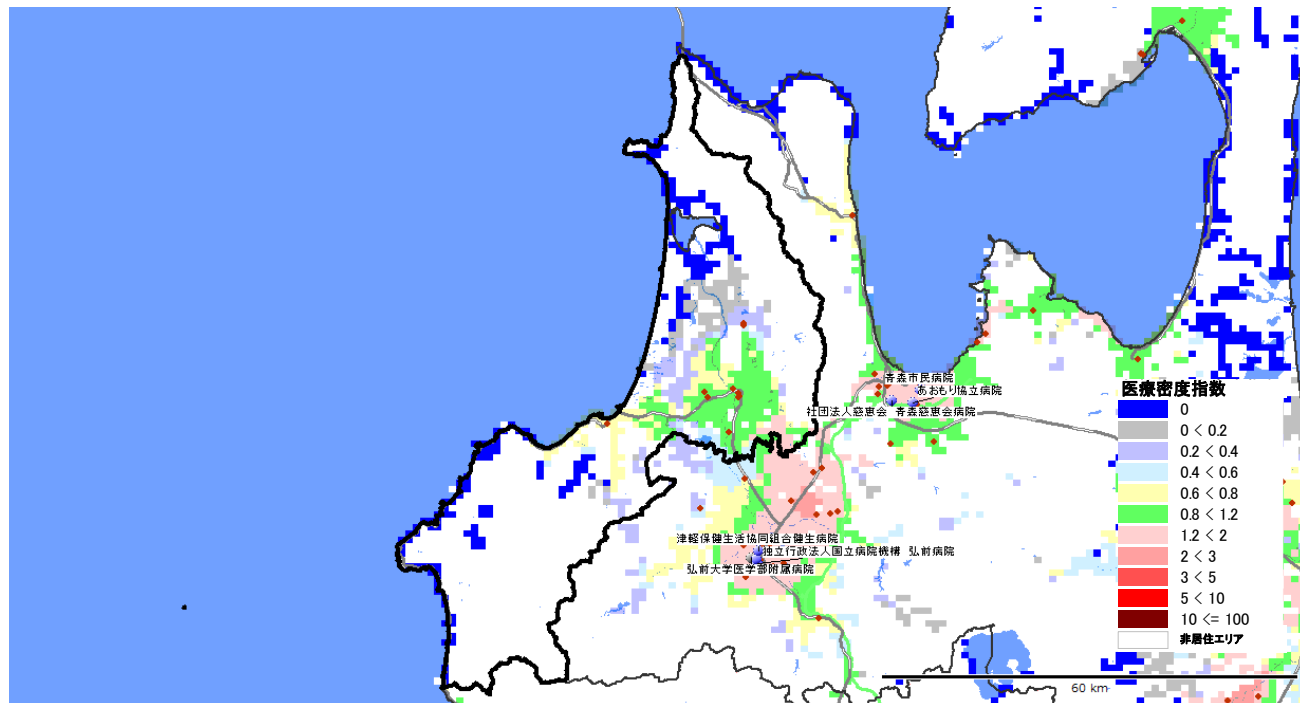
***介護の2040年の需要予測：**現在の介護充足度指数⁴は+22%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は+23%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人（推定）に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均（95.5床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

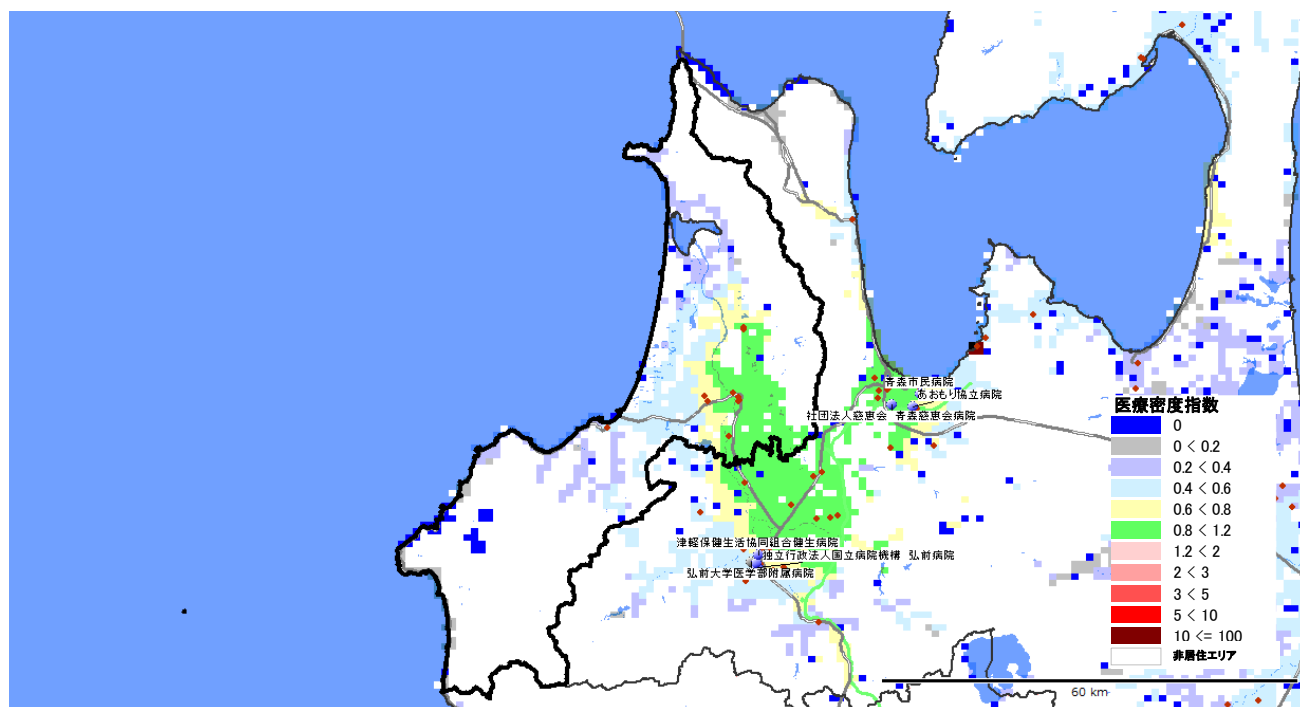
2. 青森県

2. 医療密度⁵

図表 2-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表 2-4-2 慢性期医療密度指数マップ

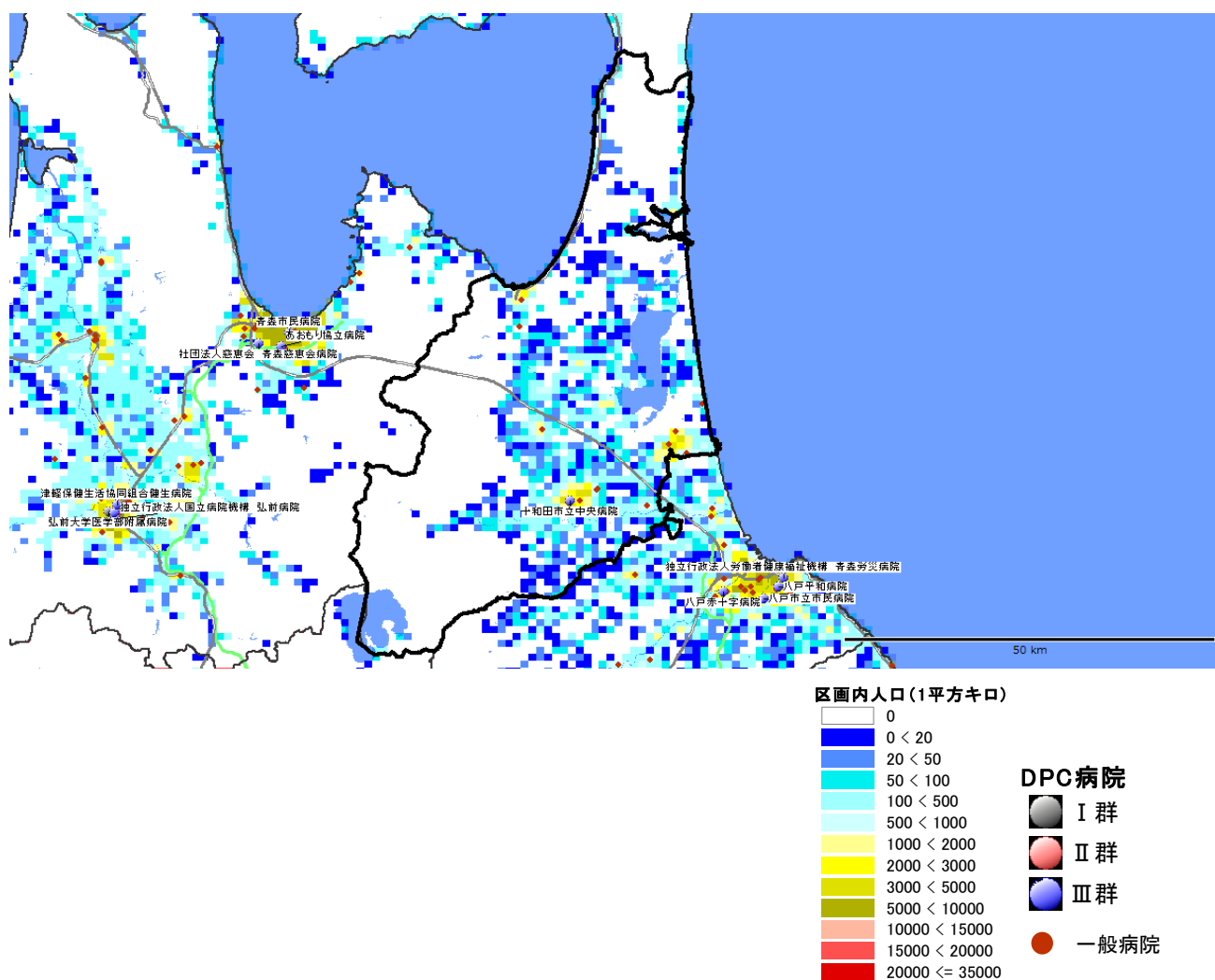


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

かみとうさん

2-5. 上十三地域医療圏

構成市区町村¹ [十和田市](#), [三沢市](#), [野辺地町](#), [七戸町](#), [六戸町](#), [横浜町](#), [東北町](#), [六ヶ所村](#)
 人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 上十三地域医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

2. 青森県

(上十三地域医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 上十三地域(十和田市)は、総人口約 176 千人(2015 年推計)、面積 2055 km²、人口密度は 86 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 上十三地域の総人口は 2025 年に 158 千人へと減少し(2015 年比-10%)、2040 年に 130 千人へと減少する(2025 年比-18%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 27 千人が、2025 年にかけて 33 千人へと増加し(2015 年比+22%)、2040 年には 34 千人へと増加する(2025 年比+3%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 上十三地域の一人当たり医療費(国保)は 281 千円(偏差値 43)、介護給付費は 323 千円(偏差値 70)であり、医療費は低い、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 上十三地域の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.74、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.42 で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 37(病院医師数 39、診療所医師数 37)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 47 とやや少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 45 で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は 38 と少ない。上十三地域には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の十和田市立中央病院がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 42 と療養病床数は少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 39 と少なく、回復期病床数は存在しない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 56 で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 36 で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 上十三地域の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2968 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1774 床(偏差値 55)、高齢者住宅等が 1194 床(偏差値 55)である。介護保険施設、高齢者住宅系ともに全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2164 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 65、特別養護老人ホーム 52、介護療養型医療施設 40、有料老人ホーム 39、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 65、サ高住 67 である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 36 と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実。

介護職員（在宅）の合計は、612人（75歳以上1000人当たりの偏差値67）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

【医療と介護の需要予測】

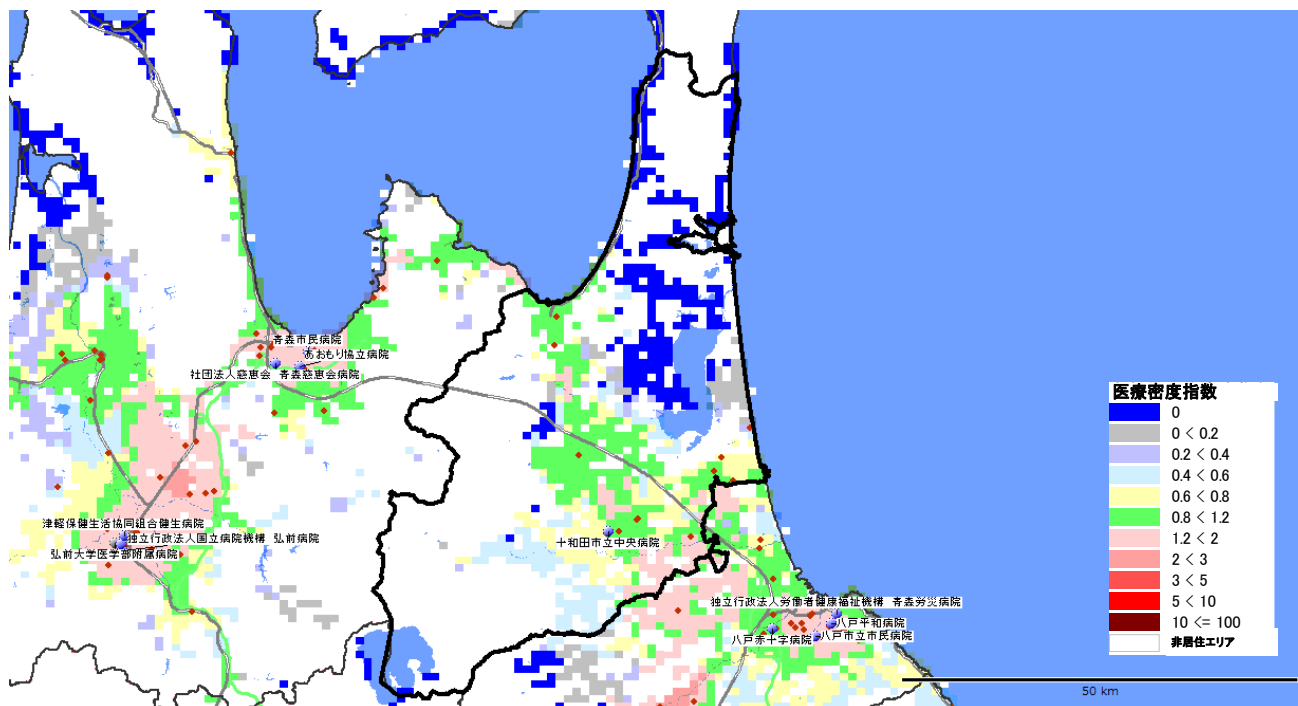
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+2%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-21%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均（95.5床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

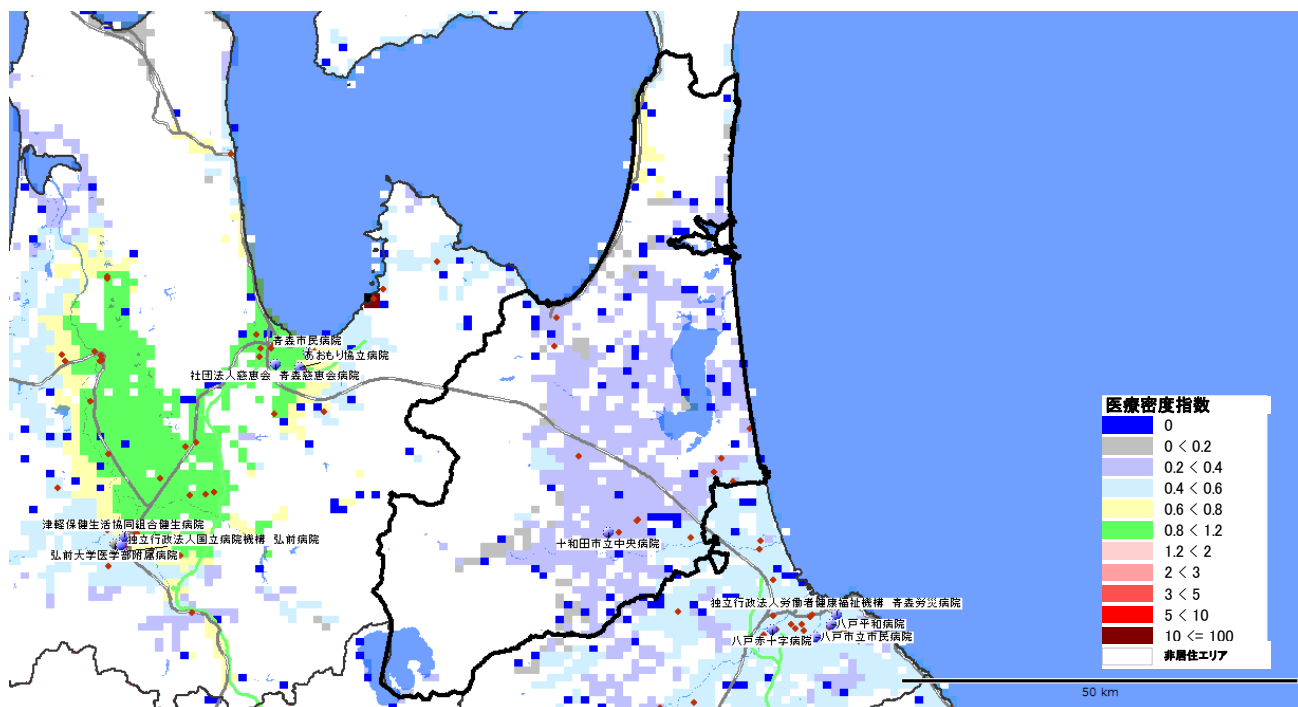
2. 青森県

2. 医療密度⁵

図表 2-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表 2-5-2 慢性期医療密度指数マップ

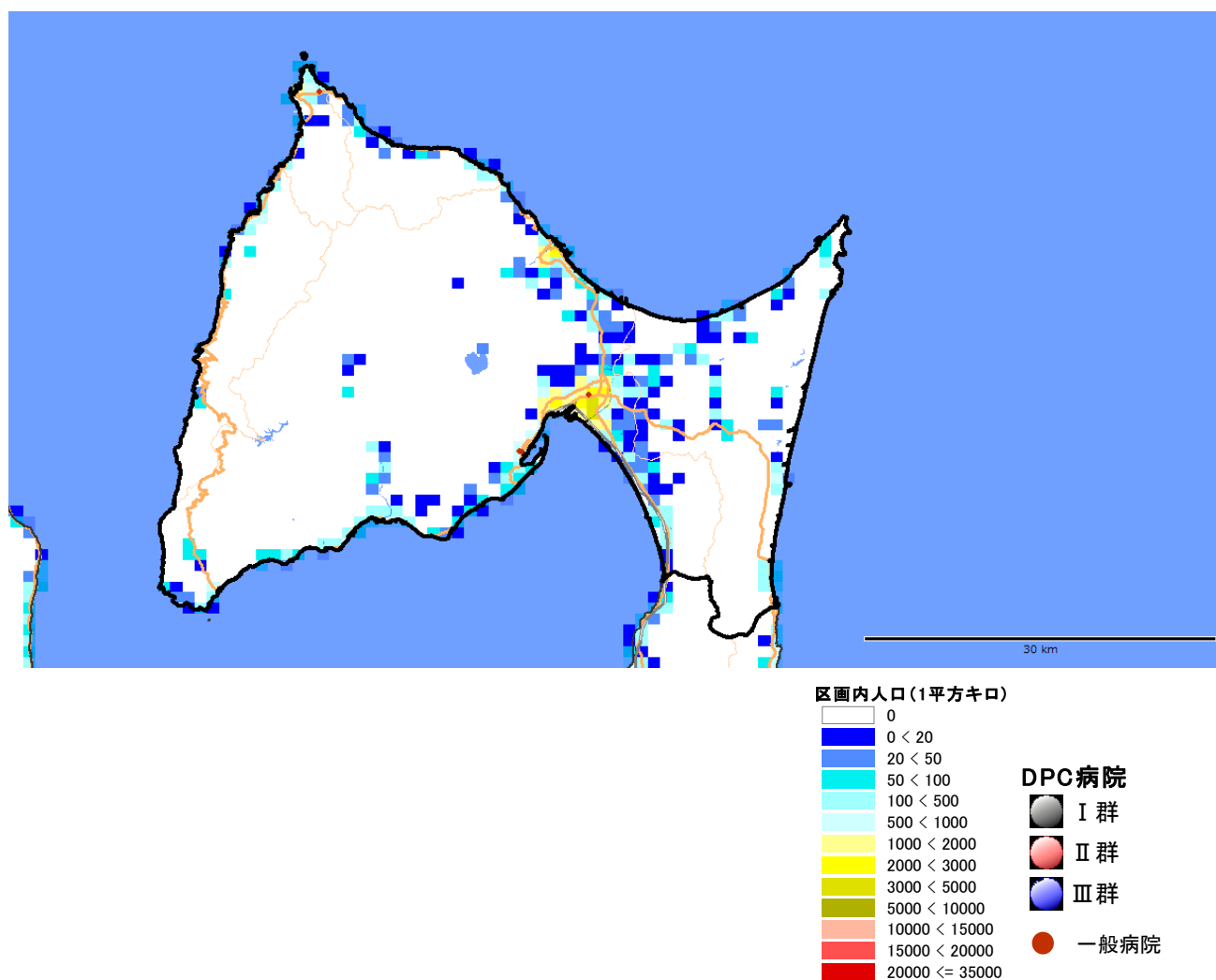


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

しもきた 2-6. 下北地域医療圏

構成市区町村¹ [むつ市](#), [大間町](#), [東通村](#), [風間浦村](#), [佐井村](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 下北地域医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く(10,000 人/km²以上)、黄色系は中間レベル(1,000~10,000 人/km²)、青色系は人口が少ない(1,000 人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

2. 青森県

(下北地域医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 下北地域(むつ市)は、総人口約 75 千人(2015 年推計)、面積 1415 km²、人口密度は 53 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 下北地域の総人口は 2025 年に 67 千人へと減少し(2015 年比-11%)、2040 年に 53 千人へと減少する(2025 年比-21%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 12 千人が、2025 年にかけて 14 千人へと増加し(2015 年比+17%)、2040 年には 14 千人とほぼ変わらない(2025 年比±0%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 下北地域の一人当たり医療費(国保)は 285 千円(偏差値 44)、介護給付費は 294 千円(偏差値 62)であり、医療費は低いが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 下北地域の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.56、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.91 で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 37(病院医師数 38、診療所医師数 37)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 45 とやや少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 45 で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は 41 と少ない。下北地域には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 45 と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 42 と少なく、回復期病床数は存在しない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 41 で精神病床数は少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 41 で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 下北地域の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1033 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 808 床(偏差値 58)、高齢者住宅等が 225 床(偏差値 38)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、885 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 51)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 51、特別養護老人ホーム 61、介護療養型医療施設 48、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 55、サ高住 40 である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 35 と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。介護職員(在宅)の合計は、173 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)で、75 歳以上人口当たり

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

では全国平均レベルをやや上回る。

【医療と介護の需要予測】

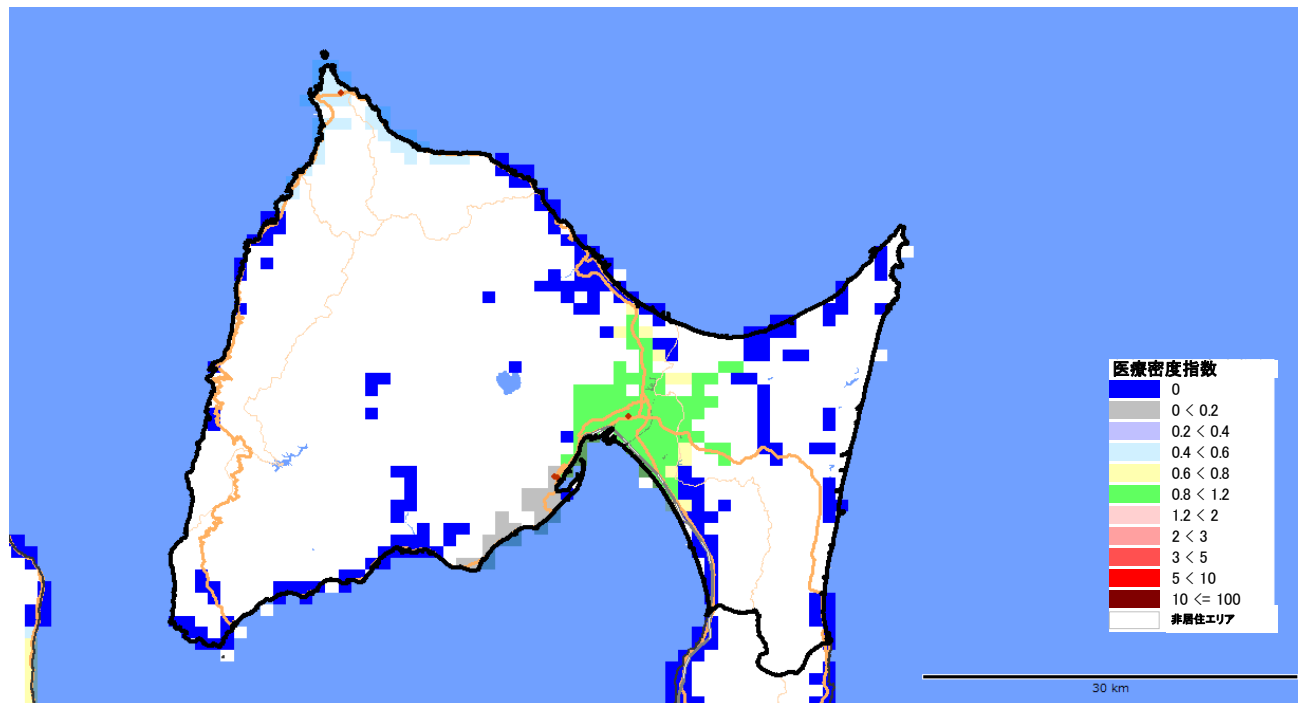
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-2%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-24%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

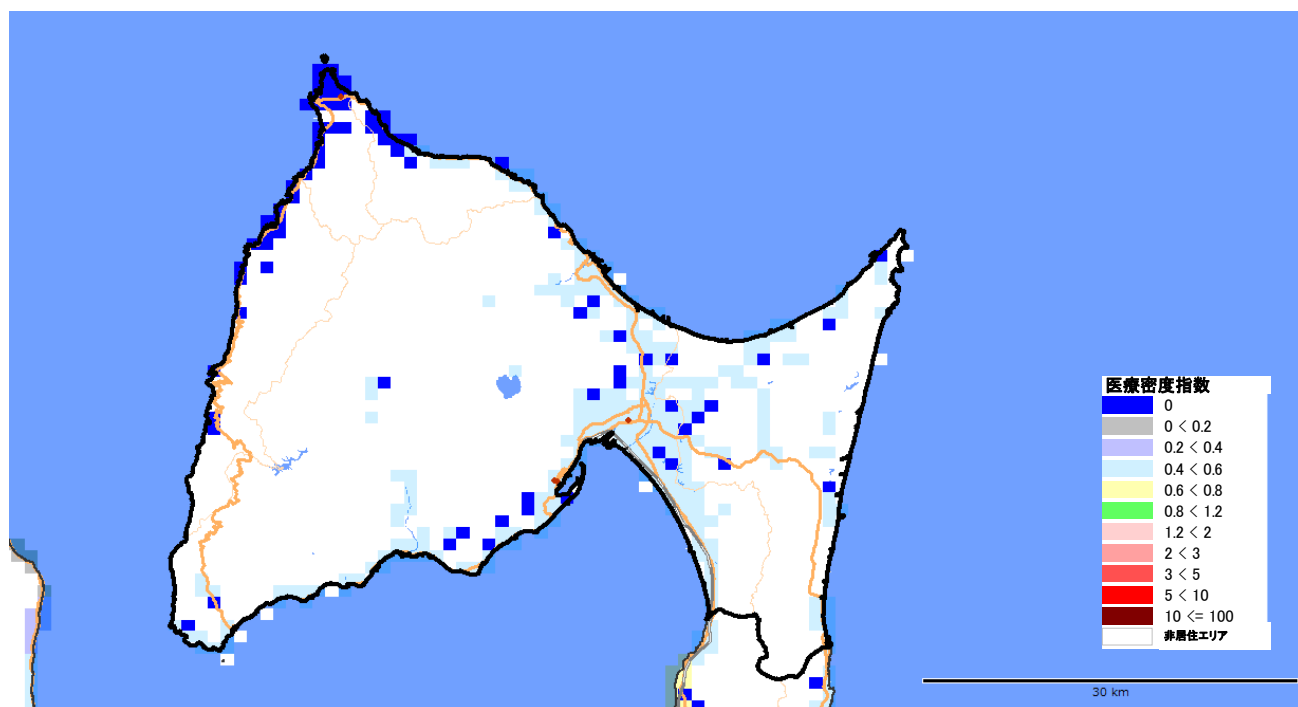
2. 青森県

2. 医療密度⁵

図表 2-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表 2-6-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。